

平成 30 年 12 月 稲荷山図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 12 月 21 日（金） 13 時 50 分から 14 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（3）、事業統括係長、子供事業統括係長 光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 稲荷山図書館指定管理者（株式会社ヴィアックス）（以下「稲」） 稲荷山図書館長、本社スタッフ（3）</p>
内容	<p>施設管理について</p> <p>（光）冬季期間中の大雪対策について （稲）開館前の雪かきについては、近隣に住むスタッフが少し早めに出勤し、清掃の方にも手伝っていただきながら行う。融雪剤は事前に購入している。開館中の積雪については、敷地が広いので、スタッフが交代で雪かきをする。</p> <p>職員体制・会計収支について</p> <p>（光）支出のうち、各種事業費-学校支援事業業務の執行率が高いことについて （稲）今年度から学校支援モデル事業が無くなったことに伴い、図書運搬便の数が少なくなることを予測して予算を低く見積もっていたが、想定よりも運搬回数が多く執行率が高くなっている。来年度の予算については今年度の執行状況を踏まえて調整したいと考えている。</p> <p>一般事業について</p> <p>（光）10 月から 11 月にかけて実施した「中里郷土の森×稲荷山図書館 秋のおさんぽマップ」について （稲）中里郷土の森と稲荷山図書館それぞれにスタンプを設け、2 か所のスタンプを集めた参加者に記念品の缶バッジとしおりを差し上げた。缶バッジは中里郷土の森で作成し、図書館では散策マップとしおりを作成した。散策マップは豊島園で行われたねりま祭での配布も含め 200 枚と多かったのに比べ、実際スタンプを集めた方は 5 分の 1 と想定より少なかった。</p> <p>（光）11 月実施の「虫の世界に入ってみよう！」について （稲）クロマキーという技術を使った合成撮影により、虫の世界に入ったような体験ができる。機器は自社で所有しており、完成した映像は DVD に編集し参加者に差し上げた。</p> <p>（光）11 月実施の「練馬大根を収穫しよう！」について、定員を 5 組と設定した理由は。 （稲）収穫のための費用を図書館で負担している関係で、定員を多くすることができなかった。そのため、参加を希望する方は定員以上にいたが、先着順にさせていただいた。</p> <p>（光）開館 30 周年記念事業について、これまで実施した事業に対する評判や意見は。 （稲）5 月に実施したミニコンサートは、多くの方に好評をいただき、またやってほしいというご意見をいただいた。6 月から 8 月までの貸出袋スタンプや 11 月の歴史講座に</p>

についても、次回の開催を希望する声が多く、記念事業として大変評判が良かった。

児童サービス事業について

(光) 11 月実施の「豊溪小学校応援団まつりへの参加」について

(稲) 昨年、こちらからお声がけして参加させていただき、今年は 2 年目の参加である。以前から八坂小学校の応援団まつりには参加しており、子供たちの反応が良かったので、近隣の豊溪小学校にも声をかけさせていただいた。当日は子供だけでなく保護者の方の参加もあり、よみきかせと工作会を実施した。

(光) 11 月実施の「カブトムシをそだててみよう！」について

(稲) 利用者懇談会で北大泉幼稚園から依頼があったことをきっかけに今年初めての実施となった。12 匹のカブトムシの幼虫を差し上げ、園児たちに育てていただく。当日は図書館スタッフと一緒に幼虫をケースに移し替える作業を行い、育てるときの注意事項等を伝えた。成虫になる前に土を変える必要があるため、春頃に 1 度様子を見に伺いたいと思っている。

その他

(光) 10 月開催の「利用者懇談会」について

(稲) 一般利用者 1 名、関係団体 3 名の方に参加いただき、中里郷土の森や北大泉幼稚園との取組を知って興味を持っていただくなど、なごやかな雰囲気でお話することができた。参加者からは、若い方向けの事業を実施してほしいという意見をいただいた。過去にはラッピング講座やインテリアコーディネートなどの若い方向けの事業を企画したことがあるが、若い方の参加はほぼ無く高齢な方の参加が多かった。最近是他館でヨガの人気の高いと伺ったので、今後の実施を検討したい。

(光) 参加者数は例年そのくらいか。

(稲) そうである。昆虫関係の事業に協力いただいている方はこの時期は忙しく、参加できないことが多い。

(光) 11 月実施の「利用者アンケート」について

(稲) 総合的な満足度については昨年より上がっているが、区内の他館では満足度が 90%を超えている館もあると聞いている。今後、研修等の充実を図り、より利用者の満足度向上に努めたいと思う。

(光) 接遇に関する意見はどういったものがあったか。

(稲) 返却本のチェックの仕方や対応についてなど。接遇満足度については昨年より上昇しているにもかかわらず、いただいたご意見は多かった。今後の運営に活かしたい。